

会議記録

- 1 会議名 高松市離島航路確保維持改善協議会
- 2 開催日時 令和3年6月29日（火）14：10～15：00
- 3 開催場所 高松市役所 11階 114会議室
- 4 議題 離島航路の運営費補助に係る認定申請について
- 5 出席 高尾会長、岩崎副会長 代理 綾氏、濱委員、福井委員、
楨内委員、山下委員、池添委員、西吉委員
報道機関 1社
- 6 担当課及び連絡先 交通政策課 087-839-2138
- 7 協議経過

《委員紹介》

会長挨拶

本日は国の制度上、提出が必要となっている令和4年度における離島航路の運営費補助に係る認定申請について、御協議いただきたい。

《議事 離島航路の運営費補助に係る認定申請について》

（事務局）

資料1、2に沿って離島航路の運営費補助に係る認定申請について説明。
運航事業者に対し、新船「めおん」に関する補足説明を依頼。

（委員）

新船「めおん」は、コロナ前に計画したものだが、建造費を上げずにコロナ対策をするのに大変苦労した。

近隣の航路運航事業者に負けないほどの抗菌対策を行い、さらに飛沫防止の亚克力パネルも設置した。国の方針に沿って、どこの船会社よりも先に対策をしている。

また、乗組員全員に、アルコールチェック・体温計の所持・マスクの着用を義務づけている。

社内では抗原検査やPCR検査キットを保管しており、船員に対し感染が疑われた場合に直ちに検査ができるようにしている。

男木～女木～高松間の唯一の航路であるが、船員が感染した場合、運航ができなくなるため、船員の配乗を変えるなど、万一感染者が出た場合でも船が通常運航できるように取組んでいる。

船員は第1回目のワクチン接種を終えているところではあるが、男木～女木～高松間の生活航路であり、唯一の航路であるという使命感のもと運航をしている。

(議事1について：異議なし)

《議事 その他》

(事務局)

令和3年度(R2.10～R3.9)の国庫補助金については、航路損益見込額に対し、内定額が通知されているが、昨年度からの、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらなる減収が見込まれることから、四国運輸局においては、令和3年度補助額の確保について御尽力を賜りたい。

(委員)

国庫補助金の額については、要綱・要領で決まっているため現段階では増額は難しいと考える。

しかしながら、離島航路事業者だけでなく、公共交通事業者全体がコロナで大きな影響を受けているため、国としても、補正予算を組みコロナ対策に対して支援をしている。

また、補助航路事業者に対しても、欠損について計画申請時と乖離が大きい場合は、昨年度は補正予算で対応しているところである。事務局からの要望については、上局にあげさせていただく。

(委員)

事務局からの要望について、香川県内の事業者についても新型コロナウイルス感染症の影響により欠損が増えている同様の状況であるため、香川県としても同意見である。

(委員)

過去に行政から、安全運航・経費節減・接客マナーの向上・旅客誘致のための広報活動の強化に努めるよう言われ、様々なところで、女木島・男木島を活発に宣伝している。

また、今夏には瀬戸内の島々の風光明媚なところを全国・世界に宣伝できるイベントも予定されている。男木島・女木島の旅客便数は確保した上で、予備船を活用し、少しでも航路損益を改善したいと考えている。

新船「めおん」を遊覧などへの貸出の要望があり、その際、本航路に「めおん2」が運航することについて、男木島・女木島の方の意見を伺いたい。

(委員)

「めおん」「めおん2」の貸出については、以前「めおん」が貸出されていた時に、地元からなぜ予備船ではなく新船が貸出されるのかという声があった。

「めおん2」を観光などに活用することについては、地元からも納得されるだろうが、新船はあくまでも当該航路の主役であるため、協力をしていただきたい。

(委員)

新船は完成したばかりであるため、地域からだけでなく他からも注目され貸出の要望があることは理解できるが、地元との理解や通常利用確保の観点からの共通理解をどう構築していくか。例えば、「めおん」は男木島・女木島に来ないと乗れないことを価値として打ち出し、「めおん2」との使い分けをするなど。

(委員)

香川県にある瀬戸の風光明媚な島々を発信することにより、男木島・女木島への来島者や移住者が増加する一つと考えている。瀬戸の島々の特色を世界に向けて発信するため2日程チャーターに行った。

香川県内の他航路への定期傭船については「めおん2」、本航路は「めおん」での運航を考えているが、「めおん」でないとどうしても対応できないような場合は、「めおん」を貸出することに御理解をお願いしたい。

(委員)

長年の課題であるが、島民の駐車場の確保について解決が見えない。瀬戸内国際芸術祭時には駐車場が使えないこともあり困る。島民の駐車場の確保について進めていただきたい。

(事務局)

現在、男木島・女木島の方が優先して駐車できる駐車場はないが、サンポートの地下にある県・市で運営している駐車場は台数としては十分な駐車が可能である。

瀬戸内国際芸術祭・イベント時における駐車場の確保は、県にも情報を共有した上で引き続き検討をしていきたい。

(委員)

瀬戸内国際芸術祭時は、乗船口は観光客と住民を分ける対応をいただいているが、それまでの動線が初めての方には分かりづらい。運航事業者の協力・対応だけでは難しいところもあると思われるので、港全体として分かりやすいインフォメーションの導入をお願いしたい。

(事務局)

瀬戸内国際芸術祭の主催であり港湾の管理をされている香川県として何か考えられているのか。

(委員)

瀬戸内国際芸術祭開催期間には、臨時応援職員を港に派遣し案内をしている。

いただいた御意見については持ち帰り、担当部署に伝えることとする。